2012年10月25日

Campus News Rikkyo Niiza

ホームページアドレス　http://niiza.rikkyo.ac.jp/　〈No.59〉

新校舎への期待！

少人数制、自由選択科目もさらに充実へ

「キリスト教に基づく教育」を建学の理念とする本校は、人間教育の重視とともに、立教大学との連携の中で幅広い教養を育むカリキュラムが特色です。のびのびとした自由な校風の中、文武両道を目指しています。

現在、本校では新校舎の建設計画が進んでいます。(2014年春、竣工予定)。立教高等学校(当時)の卒業生で、社会科の宮本憲先生に、高校時代から今にいたるまでの思い出を、また、教務部長、丸山信二先生から新校舎の概要についてうかがいました。

先生方のお話の中から、本校に今も引き継がれる大切なものが伝わってきます。

そして、新しい校舎とともにさらに進化していく立教新座中学校・高等学校に寄せる、先生方の熱い思いを感じていただければと思います。

2点とも1970年卒業アルバムより

新校舎・新体育館建設計画

竣　　工：2014年4月
建物概要：本館校舎 ／地上4階　延べ床面積 約9,400㎡
体 育 館 ／地上2階　延べ床面積 約4,000㎡
4 号 館 ／地上3階　延べ床面積 約2,200㎡

自由な校風、専門性の高い学びは今も！

— 宮本　憲先生　インタビュー —

豊かな自然の中、広々とした学び舎で過ごした高校生活

私が立教高等学校に入学したのは１９６３年。６０年に新座に高校が移転して３年目でした。

当時の志木駅周辺の風景は、今とは大きく異なっていました。陸橋もなく、駅の南口側は舗装もされていませんでした。雨が降ると登校するのに泥だらけになってしまうので、雨の日は舗装されている北口側から登校するか、長靴を履いて登校するという状況で、周りは畑や雑木林に囲まれ、ウサギがいたり、ヘビなども日常的に目にするという環境でした。そうした中に建つ鉄筋コンクリート３階建ての立教高校の校舎（現本館校舎）の堂々とした姿は、異彩を放っていたのではないでしょうか。日本の近代建築に名を残す建築家、アントニン・レーモンド氏の設計、コンクリートの打ちっぱなしで、最先端の建築でした。チャペルも同じくレーモンド氏の設計で、ノアの箱船を逆にしたような形をモチーフにしたユニークで美しい建築で、今も氏の代表的な建築の一つです。

学校が、とにかく広いというのが印象的でした。周りは原っぱで、野球をしようと、走り回ろうと、何をして過ごそうとも自由な雰囲気。原っぱで、昼休みに友達とご飯を食べたり、昼寝をしたりしたことを覚えています。当時からの自由な雰囲気、校風は今も変わらないと感じています。

卒業アルバムを見ながら当時を振り返る
立教高校卒業生で教諭の宮本先生

大学レベルの専門性の高い勉強ができる環境

当時の校長、縣（あがた）康先生は、イギリスのパブリックスクールを理想とされていたといいます。そうした影響もあって、寮も設置されていて、地方から来ている生徒も多くいました。また、学校の上層部には大学関係者も多かったこともあってか、どこか大学のような雰囲気を漂わせていました。物理、化学、生物、社会科とそれぞれ専門の教室が贅沢にあり、教科の準備室も設置されていました。英語教室もあり、外国人の先生もいらっしゃいました。今振り返ると、各科目とも専門性の高い優秀な先生、大学レベルの先生が多かったですし、校舎もそうした専門性を生かすことのできる造りになっていました。

１９７３年秋から、本校の教員をしていますが、私が高校時代も、授業や学校生活の中で、先生から押さえつけられたり、対立するような感じはなかったです。昔の方が、生徒が大人だったという面はありますが、教員と生徒の関係はあまり変わらないのではないでしょうか。教員の数も多いので、生徒側も自分に合う先生を見つけて、うまく付き合っていくことができるようですね。昔も今も、先生方が生徒と程よい距離を保ちながら、のびのびとした学校生活を支えているといえるのではないでしょうか。

新校舎は、立教らしい理念を持った校舎であってほしいですね。時代に即して変化していくでしょうが、その中で、新たな魅力が加わっていくのではないでしょうか。

新校舎とともに、さらなる教育の充実を！

― 丸山　信二先生　インタビュー ―

新校舎では、生徒が安心して学習できる環境にまず重点を置き、防災面はもちろんのこと、生徒の動線を良くし、教室間の移動しやすさにも配慮します。さらに、本校は、少人数制、自由選択科目の豊富さというところが特徴ですので、そうした教育が十分にできるよう、教室数を確保し、特別教室を用意することを考えています。

２０１１年から高校では、７クラスから８クラスに変更し、１クラスの人数を減らし（１クラス４５人→４０人に)、中学校も２０１４年から５クラスから６クラスにする予定です（１クラス４０人→３５人に)。また、中学・高校ともに、英語などいくつかの教科で分割授業を行っているので、そうした授業に対応できるように教室数を確保します。自由選択科目は、かなり専門的な科目が豊富にあり、少人数で行う講座も多い。また、大学との連携の中で実施される講座もあります。それらに対応した小教室もいくつか用意するほか、専門の先生方の授業に十分に対応できるよう ICT 機器も充実させる計画です。

特別教室としては、書道室や CALL 教室（AV 機器を充実させた英語・英会話の授業のための教室)、家庭科実習室などの設置が予定されています。(理科室（６室)・ＰＣ教室・技術室・音楽室・美術室・工芸室は、３号館にすでにある教室を利用します)。

本校では、卒業論文を書きますので、自由選択科目で学んだことの成果を収めてほしいですし、大学での研究や将来にもつなげていってほしいと思います。学校として、大学との一貫連携を意識している部分も強くありますので、新しい校舎が、さらにそうした学びを深める場になってほしいですね。

また、体育館の新築については、現状の設備を維持しつつ、広さを確保すること、柔道場の２面設置、トレーニングルームの充実等が予定されています。本校では、高校２・３年の体育の授業が種目選択制で、各競技の専門の先生が指導しているので、そうした状況に合わせ、様々な種目に対応できる環境を整えることが必要です。将来的には、陸上競技場の改修や屋内プールの新築も検討しています。

inter-edu サイトに掲載中のインタビューをもとに再構成しました。

3点とも1985年卒業アルバムより

チャペルだより

＊新しい時代への引き継ぎ＊

「一つの時代が終わり、新しい時代の幕が明けようとしている」少々大げさな言い方かもしれませんが、今の立教新座の置かれた状況として使ってみました。もちろん校舎に限ってのことであるのは言うまでもありません。物を擬人化するのはどうかとは思いますが、でも長年使われ、たくさんの思い出の詰まった校舎が間もなく取り壊されてしまうのは、ここで過ごした人たちにとっては、愛する人を失うような寂しさを感じるのではないでしょうか。物があたかも生き物であるかのような錯覚を覚えるのは、その物がいかに親しまれ愛されてきたかの証しです。本館校舎と体育館は、在校生や教職員、そしてOBたちにとってはそんな存在でしょう。それが間もなく取り壊されるというのは、一つの時代の終わりにさえ思われるかもしれません。「形ある物はいつか無くなる」これも世の常です。どんなに頑強な物も、いつかは必ず崩れ去るわけで、この現実も受けとめなければなりません。

こうした複雑な思いのうちに、わたしたちは今、新校舎の建築、そして完成に向かって歩んでいます。実際の新校舎の姿はまだ平面でしか見えてきません。でもこれが徐々に立体化されて完成に至った時、わたしたちはそこから新しい第一歩を踏みだし、そして年月の経過とともに思い出を重ねて染み込ませ、やがて愛着へと変わっていくのでしょう。

立教には、見た目の変化に左右されないキリスト教を土台とした精神があります。これだけは、時間や空間を超越したものです。今の校舎もその土台の上に建ちました。そして新校舎も同じ土台の上に建ちます。イエスは、旧約時代の終わりを告げ、新約時代の夜明けを告げました。でもその根底には同じ神がありました。過去との連続性のもとでの新しい第一歩だったわけです。

わたしたちは今、立教新座の過去と未来の中間地点にいます。旧校舎の最後を見届け、新校舎の誕生の瞬間を待つという状況下にいます。この両方を体験できることは幸せなことかもしれません。わたしたちの役目は、過去と未来をうまく結びつけることではないでしょうか。旧校舎に宿っていた精神を新校舎に引き継がせることだと思います。今のこの地道な歩みを大切に温めたいものです。

（チャプレン　西海雅彦）

《2012年度　学校説明会日程》

11月18日(日)
〈中学校〉　①9:30～　②11:30～
〈高　校〉　13:30～

※自家用車での来校はお断りします。
※参加申し込みは不要です。
時間までに本校にお越し下さい。
上履きは不要です。

《2013年度入試要項(願書)の配布について》

	立教新座中学校	立教新座高等学校
販　売	立教新座中学校・高等学校、正門右手(門衛所)にて販売しております。 販売時間8:00～20:00(土日、祝日も販売)　入試要項　1部　1,000円	
郵送申込	入試要項　1部　1,000円 送　料　1部　390円(切手) 2部　580円(切手) 3部　580円(切手)	入試要項　1部　1,000円 送　料　1部　390円(切手) 2部　580円(切手) 3部　850円(切手)
	封筒に「中学校入試要項請求」と明記し、現金書留で下記に請求してください。	封筒に「高校入試要項請求」と明記し、現金書留で下記に請求してください。
	〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25　立教新座中学校・高等学校　教務・入試広報課 TEL(直通) 048-471-6648	
外国在住の方	海外への送付方法につきましては、教務・入試広報課までお問い合わせ下さい。	

《2013年度 入試日程》

〈立教新座中学校〉

		一般 第1回	帰国児童	一般 第2回
募集定員		男子 約100名	男子 若干名	男子 約40名
出願	郵送	1月5日(土)～18日(金) 消印有効		
	窓口	なし		2月2日(土)
入学試験		1月25日(金)		2月3日(日)
合格発表		1月26日(土) 掲示・郵送・ホームページ		2月3日(日)ホームページ　2月4日(月)掲示
入学手続		1月28日(月) ～ 2月2日(土)		2月4日(月)

〈立教新座高等学校〉

	推薦入試	一般入試
募集定員	男子 約20名	男子 約60名
出　願	1月5日(土)～8日(火) 必着(郵送のみ)	1月17日(木)～25日(金) 消印有効(郵送のみ)
入学試験	【一次】書類審査　【二次】1月22日(火)	2月1日(金)
合格発表	【一次】1月15日(火)　【二次】1月23日(水)	2月2日(土)　郵送・掲示・ホームページ
入学手続	1月28日(月)	2月7日(木)

行事予定　～ 中学校 ～

10/29(月)	S.P.F.振替休日
11/ 1(木)	秋季休業(～5)
8(木)	収穫感謝礼拝
10(土)	漢字検定
14(水)	1年社会科校外学習
18(日)	学校説明会
20(火)	1・2年音楽祭
12/ 5(水)	期末試験(～7)
8(土)	1年美術特別授業
10(月)	スポーツ大会、イルミネーション点灯式
18(火)	1・2年芸術観賞会
20(木)	英語スピーチコンテスト
21(金)	2学期終業礼拝、保護者学級会
22(土)	冬季休業(～1/7)
23(日)	1年社会科校外学習
25(火)	スキー学校(～29)
1 / 8(火)	3学期始業礼拝、宿題試験、英語実力試験
9(水)	1・2年学力テスト、3年GTEC
10(木)	3年聖パウロ回心日礼拝
16(水)	1年聖パウロ回心日礼拝
17(木)	2年聖パウロ回心日礼拝
25(金)	一般入試第1回・帰国児童入試
26(土)	一般入試第1回・帰国児童入試合格発表

行事予定　～ 高 校 ～

10/29(月)	S.P.F.振替休日
11/ 1(木)	秋季休業(～5)
6(火)	3年卒業論文提出日
8(木)	収穫感謝礼拝
18(日)	学校説明会
22(木)	学友会会長選挙
24(土)	1年進学クラス説明会
26(月)	3年学年末試験(～30)
12/ 5(水)	1・2年期末試験(～10)
10(月)	3年登校日、イルミネーション点灯式
21(金)	2学期終業式、3年クリスマス礼拝
22(土)	冬季休業(～1/7)
25(火)	スキー学校(～29)
1 / 8(火)	3学期始業礼拝、宿題試験、3年聖パウロ回心日礼拝
10(木)	1年聖パウロ回心日礼拝
17(木)	2年聖パウロ回心日礼拝
22(火)	高校推薦入試(二次)
23(水)	高校推薦入試合格発表

Campus News Rikkyo Niiza 第59号
編　集：立教新座中学校・高等学校
教務・入試広報課
発　行：立教新座中学校・高等学校
〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25
☎048-471-2323(代表)